

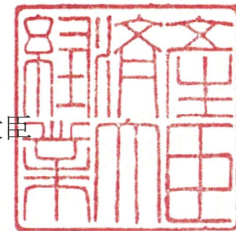
総 統 経 第 3 2 号
20240306統 第 1 号
令 和 6 年 3 月 29 日

各 位

総 務 大 臣



経 済 産 業 大 臣



経済構造実態調査の事前周知について（依頼）

日頃より政府が実施する各種統計調査に御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

総務省・経済産業省では、我が国の全ての産業における企業・事業所や団体を対象とした「経済構造実態調査」を令和6年6月に実施します。

「経済構造実態調査」は、全ての産業における付加価値等の構造とその変化を明らかにする基幹統計調査（統計法（平成19年法律第53号）に基づいた報告義務のある調査）であり、その調査結果は、国民経済計算（年次推計）の精度向上への寄与のほか、より正確な景気判断や効果的な行政施策の立案、実施のための基礎資料、企業経営の参考資料などに広く利活用されることを目的としています。

「経済構造実態調査」のより円滑な実施に向け、その趣旨・必要性について広く御理解いただきたく、統計法第30条第1項に基づき協力を依頼いたします。貴団体に属する各企業等に対し、貴団体のホームページや機関誌（紙）への記事・広告の掲載等を通じて、「経済構造実態調査」の実施及び調査への御回答（特にインターネットでの回答を推奨）について御周知いただきますようお願い申し上げます。

なお、今回の調査については、同時期に実施される「経済センサス - 基礎調査」と同時一体的に実施し、調査対象企業・事業所の負担軽減を図ることとしています。

「経済構造実態調査」に関する広報依頼（お願い）

総務省・経済産業省
2024年3月

「経済構造実態調査」の実施に先立ち、貴団体に属する企業等の皆様に当調査についてご周知
いただきたく、お願いする次第です。

※ご周知いただく際には、別添の広報用素材を是非ご活用ください。

● 経済構造実態調査とは

経済構造実態調査は、全ての産業の付加価値等の構造とその変化を明らかにし、国民経済
計算（GDP統計）の精度向上に資するとともに、5年ごとに実施する「経済センサス-活動調
査」の中間年の実態を把握することを目的とした毎年実施の調査[※]です。

政府の重要な調査であり、統計法（平成19年法律第53号）に基づいた**報告義務のある調査
（基幹統計調査）**として実施します。

※経済センサス-活動調査の実施年を除きます。

詳しくは、同封のリーフレット「安心まるわかり！ みんなの経済構造実態調査」及び経済
構造実態調査ホームページをご高覧ください。ホームページでは、3月末に昨年実施した調
査の結果を公表します。

経済構造実態調査ホームページ
<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>



● 貴団体にご協力をお願いしたいこと

- ・ 貴団体において発行している機関誌（紙）などへの掲載
- ・ 貴団体のホームページへの掲載
（掲載いただける場合、別添「広報用素材」に掲載しているバナー等の用意もございます。）
- ・ 総会などで、「経済構造実態調査」が実施される旨の案内
（数に限りはございます。リーフレットの送付も可能です。）

など

以上、簡単なご案内を記載いたしましたが、経済構造実態調査についてご不明な点等がござ
いましたら、下記連絡先までお気軽にご連絡ください。

何卒よろしくお願いたします。

<連絡先>

総務省統計局経済統計課経済構造実態調査担当
メールアドレス：e-kkj@soumu.go.jp
電話番号：03-5273-1165

- 貴団体のホームページや機関誌（紙）において、「経済構造実態調査」に関する記事やバナー等の掲載にご協力いただける場合は、以下「広報用素材について」をご参考にご活用くださいますようお願いいたします。
- 電子ファイルやリーフレットが必要な場合には5ページ目に記載の <連絡先>までご連絡ください。

■■ 広報用素材について ■■

1. 機関誌用原稿（電子ファイル）

機関誌用原稿は、貴団体発行の機関誌等の誌面において、ご掲載いただくことを目的とした〔1〕イラスト入り原稿及び〔2〕文例集です。

主に、本調査の重要性（法律に基づいた報告義務のある基幹統計調査）及び実施時期の周知を目的としており、調査関係書類の送付時期なども明記しています。

〔2〕文例集は、貴団体ホームページの「お知らせ/インフォメーション」欄等への掲載においてもご活用いただければ幸いです。

〔1〕イラスト入り原稿



〔2〕文例集（3種類）

●文例①

総務省・経済産業省では、2024年6月に全ての産業における企業・事業所や団体を対象とした「経済構造実態調査」を実施いたします。

経済構造実態調査は、全ての産業における企業・事業所や団体の経済活動の状況を明らかにする、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査であり、「国民経済計算（GDP統計）の精度向上」に資するほか、「より正確な景気判断・効果的な行政施策の立案」「企業経営の参考資料」などに広く利活用されることを目的としています。

調査をお願いする企業・事業所や団体の皆さまには、国が調査を委託した事業者から、調査書類を5月から順次郵送いたしますので、インターネットにて、ご回答をお願いいたします（郵送でご回答いただくこともできます。）。

なお、今回の調査については、同時期に実施される「経済センサス - 基礎調査」と同時一体的に実施し、調査対象企業・事業所の負担軽減を図ることとしています。

詳しくは、以下の URL から経済構造実態調査のホームページをご覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

●文例②

総務省・経済産業省では、2024年6月に「経済構造実態調査」を実施いたします。

この調査は、国民経済計算（GDP統計）の精度向上等を目的とした、統計法に基づく報告義務のある調査です。

調査をお願いする企業・事業所や団体の皆さまには、調査書類を5月から順次郵送いたしますので、インターネットにて、ご回答をお願いいたします（郵送でご回答いただくこともできます。）。

なお、今回の調査については、同時期に実施される「経済センサス - 基礎調査」と同時一体的に実施し、調査対象企業・事業所の負担軽減を図ることとしています。

詳しくは、以下の URL から経済構造実態調査のホームページをご覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

●文例③（ホームページの「お知らせ/インフォメーション」欄等への掲載用）

総務省・経済産業省では、2024年6月に「経済構造実態調査」（統計法に基づく基幹統計調査）を実施いたします。

なお、今回の調査については、同時期に実施される「経済センサス - 基礎調査」と同時一体的に実施いたします。

詳しくは、以下の URL から経済構造実態調査のホームページをご覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

2. 広報用リーフレット（電子ファイル及び紙）

広報用リーフレットは本状にも同封しております。総会などで配布いただける場合は、紙の追加送付も対応いたします。

ただし、数に限りがございますので、誠に勝手ながら1団体20部までのご提供とさせていただきます。

なお、広報用リーフレットは、調査票などの調査書類に同封し、調査の対象となる企業や団体の皆様に送付いたします。

このリーフレットの上半分は、調査の方法と結果の公表時期に関する情報を提供しています。左側には「調査の方法」でインターネットでの回答を推奨し、QRコードとウェブサイトのリンク（<https://www.stat.go.jp/data/ki/j/kaka/index.html>）が示されています。右側には「結果の公表時期」で調査実施の年度末からホームページにて順次公表予定であることが示されています。中央には「調査の結果から分かること」で、我が国全体の売上高やその推移についても、以下のように毎年把握することができると説明されています。下部には「経済構造実態調査のホームページ」のQRコードと検索ボックスが配置されています。右側の半分は、大きなタイトル「経済構造実態調査」の下に「基幹統計調査」とあり、様々な職業のイラストが描かれています。下部には「安心まるわかり! みんなの」のフレーズと「経済構造実態調査」の大きな文字が目を引きます。さらに「全ての産業の法人企業が対象になります。」と「インターネットでご回答をお願いします。」というメッセージが添えられています。最下部には「経済構造実態調査へのご理解・ご回答をお願いします。」というお願いの文と、総務省と経済産業省のロゴが記載されています。

このリーフレットの下半分は、調査の目的と実施方法に関する詳細な説明を提供しています。左側には「経済構造実態調査」の大きなタイトルと「…ってなんですか?」という問いかけがあります。その下には「総務省・経済産業省が毎年実施する統計調査です」という旨が述べられています。さらに「調査の概要」で、経済構造実態調査は、我が国の全ての産業の付加価値等の構造を明らかにし、国民経済計算（GDP統計）の精度向上等に資するとともに、5年ごとに実施する「経産センサス・活動調査」の中間年の実施を促進するための調査であることが説明されています。「調査の目的」では、国民経済計算（GDP統計）の精度向上とより正確な経済構造の把握を目的として実施される旨が述べられています。「調査の対象」では、1. 全ての産業に属する一定規模以上の法人企業（産業横断調査）と、2. 製造業に属する一定規模以上の法人事業所（製造業事業所調査）が対象であることが示されています。「調査の目的」の項目には「調査の目的」として「6月1日現在で実施します。」と記載されています。右側には「調査の法的根拠」で「統計法（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査として実施します。」と明記されています。また、「基本調査及び守秘義務」に関する説明も含まれています。「調査事項」では、「1 産業横断調査」と「2 製造業事業所調査」の2つの調査項目が示されています。各項目には、調査対象となる項目のリストが提供されています。例えば、産業横断調査には「経営種別」「資本金等の額」「企業全体の売上(収入)金額」「費用総額及び主な費用項目」「主な事業の内容」「事業活動、生産物の種類別の売上(収入)金額」などが含まれます。製造業事業所調査には「経営種別」「資本金額又は出資金額」「事業所の従業員数」「人件費及び人材派遣会社への支払額」「原材料使用額」「燃料使用額」「電力使用額」「委託生産費」「有形固定資産」「製造品出荷額」「在庫額」「工業用地及び工業用水」などが含まれます。最下部には、調査の実施期間「6月1日現在で実施します。」と、総務省と経済産業省のロゴが記載されています。

3. ホームページ用バナー（電子ファイル）

ホームページ用バナーは、貴団体のホームページにおいて、ご掲載いただくことを目的とした素材です。

バナーのリンク先としては、経済構造実態調査のホームページ（下記URL）を想定しています。なお、当該ページには、調査の目的、調査対象の範囲、調査事項など、本調査の概要を詳しく掲載しています。

●バナー（下記以外のサイズの用意もあります。）



300 × 250 px



320 × 100 px

●経済構造実態調査ホームページURL

ホームページ用バナーのリンク先については、下記URLとしていただくようお願いいたします。

〔リンク先URL〕 <https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

=====

広報用素材について、ご不明な点やご希望等がありましたら下記連絡先までご連絡ください。

（お願い）

貴団体においてご協力いただいた内容（機関誌の写し等）は、もし可能でしたら、メール等でお知らせいただければ幸いです。

<連絡先>

総務省統計局統計調査部経済統計課 経済構造実態調査担当

電話：03-5273-1165（直通）

E-mail：e-kkj@soumu.go.jp

安心まるわかり! みんなの

経済構造 実態調査

基幹統計調査



- 全ての産業の法人企業が対象になります。
- インターネットでご回答をお願いします。

経済構造実態調査へのご理解・ご回答をお願いします。

経済構造 実態調査

…ってなんですか？

総務省・経済産業省が毎年実施する
統計調査です ※経済センサス・活動調査の実施年を除く

調査の概要

経済構造実態調査は、我が国の全ての産業の付加価値等の構造を明らかにし、国民経済計算(GDP統計)の精度向上等に資するとともに、5年ごとに実施する「経済センサス・活動調査」の中間年の実態を把握するための調査です。

調査の目的

- 国民経済計算(GDP統計)の精度向上
- より正確な景気判断や経済構造の把握に基づく効果的な行政施策の立案
- 企業の経営判断 など



調査の対象

- 1 全ての産業に属する一定規模以上の法人企業 (産業横断調査)
- 2 製造業に属する一定規模以上の法人事業所 (製造業事業所調査)

調査の法的根拠

統計法(平成19年法律第53号)に基づく
基幹統計調査として実施します。



報告義務及び守秘義務

統計法では、基幹統計調査を受ける人には報告の義務を、また、調査を実施する関係者(国の職員、業務を委託した民間事業者など)には調査によって知ったことを他に漏らしてはならない義務を規定しており、これらに反したときには罰則が定められています。なお、ご回答いただいた内容を統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することはありませんので、安心してご回答ください。



調査事項

1 産業横断調査

- 経営組織 資本金等の額 企業全体の売上(収入)金額
- 費用総額及び主な費用項目 主な事業の内容
- 事業活動、生産物の種類別の売上(収入)金額 などをご回答していただきます。

一部の大規模な企業等では、企業全体の事業別費用の内訳、企業傘下の事業所の売上(収入)金額などについてもご回答していただきます。

2 製造業事業所調査

- 経営組織 資本金額又は出資金額 事業所の従業者数
- 人件費及び人材派遣会社への支払額 原材料使用額 燃料使用額
- 電力使用額 委託生産費 有形固定資産 製造品出荷額
- 在庫額 工業用地及び工業用水 などをご回答していただきます。

調査の期日

6月1日現在で実施します。



調査の方法

インターネットでご回答をお願いします。

- インターネット回答用の調査関係書類を5月から順次郵送します。
- ぜひ、便利なインターネット回答をご活用ください。
インターネットでご回答いただいた情報は、
厳重なセキュリティで保護されるため、安心してご回答いただけます。
- ご希望により郵送でご回答いただくこともできます。
- 調査は、国が業務を委託した民間事業者等を通じて行います。

ご活用ください



結果の公表時期

調査実施の年度末からホームページにて順次公表予定です。
以下からご覧いただけます。

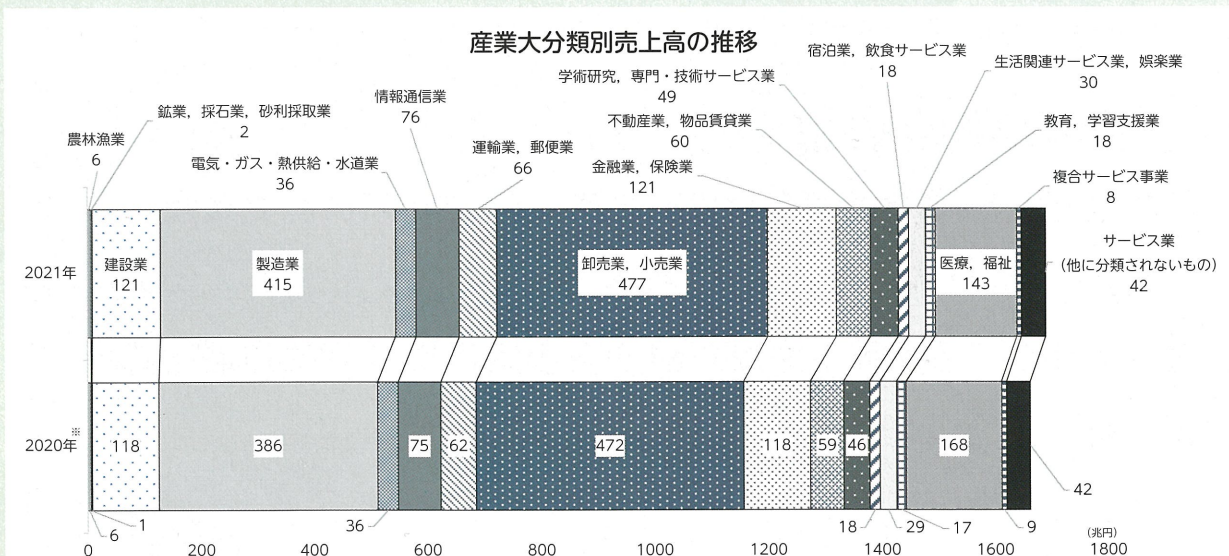
<総務省統計局 HP>

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/kekka/index.html>



調査の結果から分かること

我が国全体の売上高やその推移についても、以下のように毎年把握することができます。



※ 2020年の数値は、令和3年経済センサス活動調査結果の「会社企業」と「会社以外の法人」の合計である。ただし、「サービス業（他に分類されないもの）」の数値は、「政治、経済、文化団体」及び「宗教」（経済構造実態調査の対象外産業）を除いたものである。

経済構造実態調査のホームページ

経済構造実態調査

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

